

結婚・子育て・教育環境関連資料

(1) 結婚に関する意識

(平成 25 年版厚生労働白書－若者の意識を探る－より抜粋)

①未婚者の生涯の結婚意思

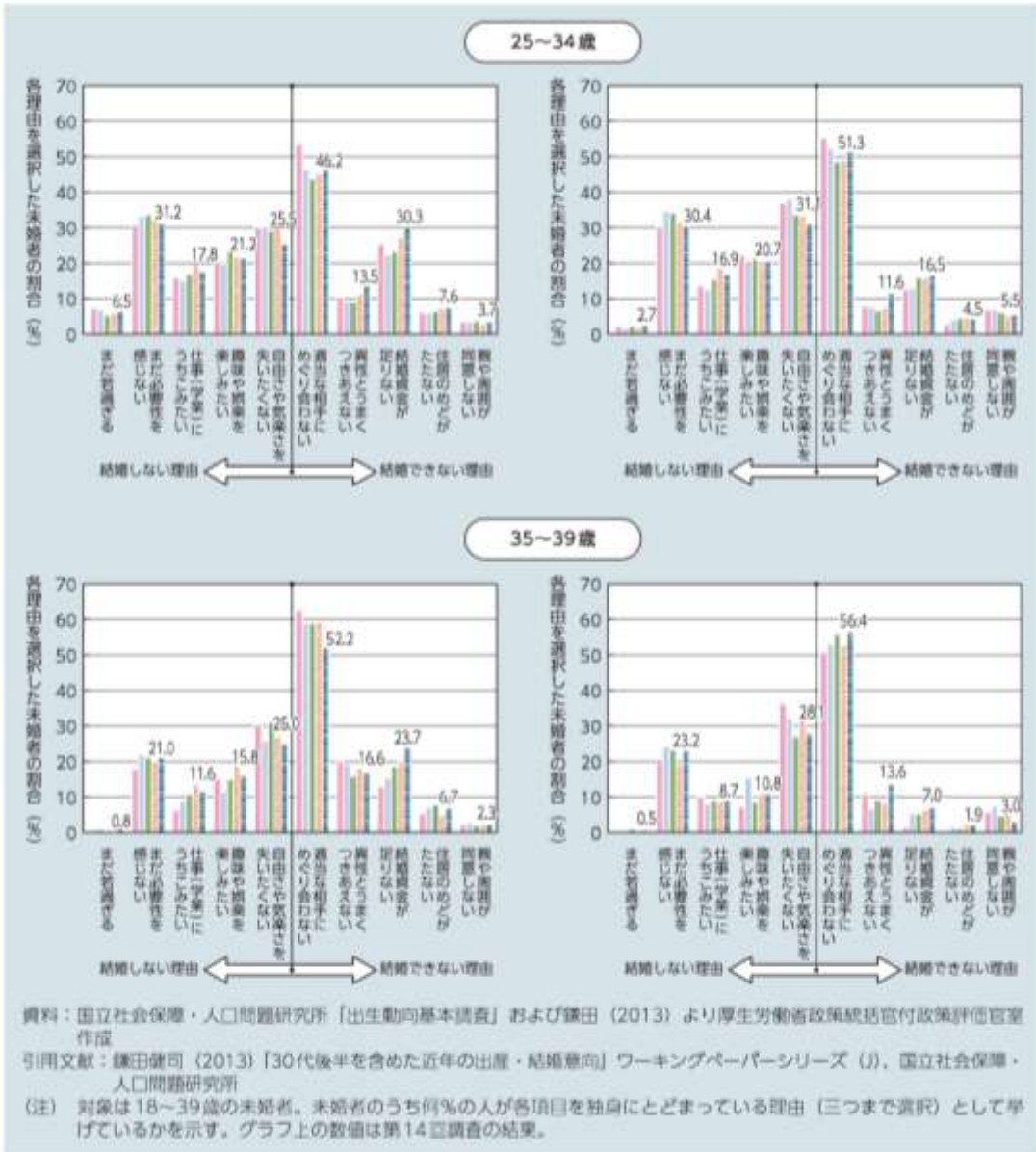
「いずれは結婚しようとする未婚者の割合」は、9 割弱で、高い水準にある。



②独身にとどまっている理由

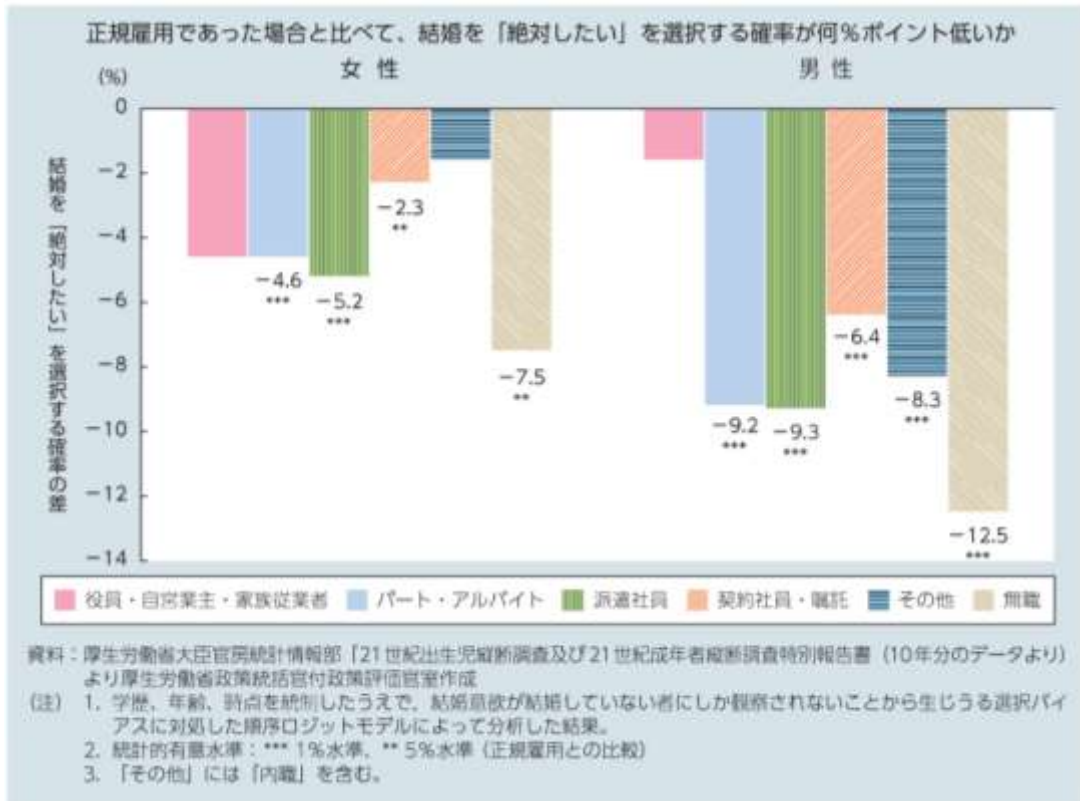
(①で「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者)

結婚への意識が高いにもかかわらず、「結婚しない・できない」理由として、「適当な相手にめぐり合わない」の割合が高く、年齢が高くなるほどその傾向が強くなる。



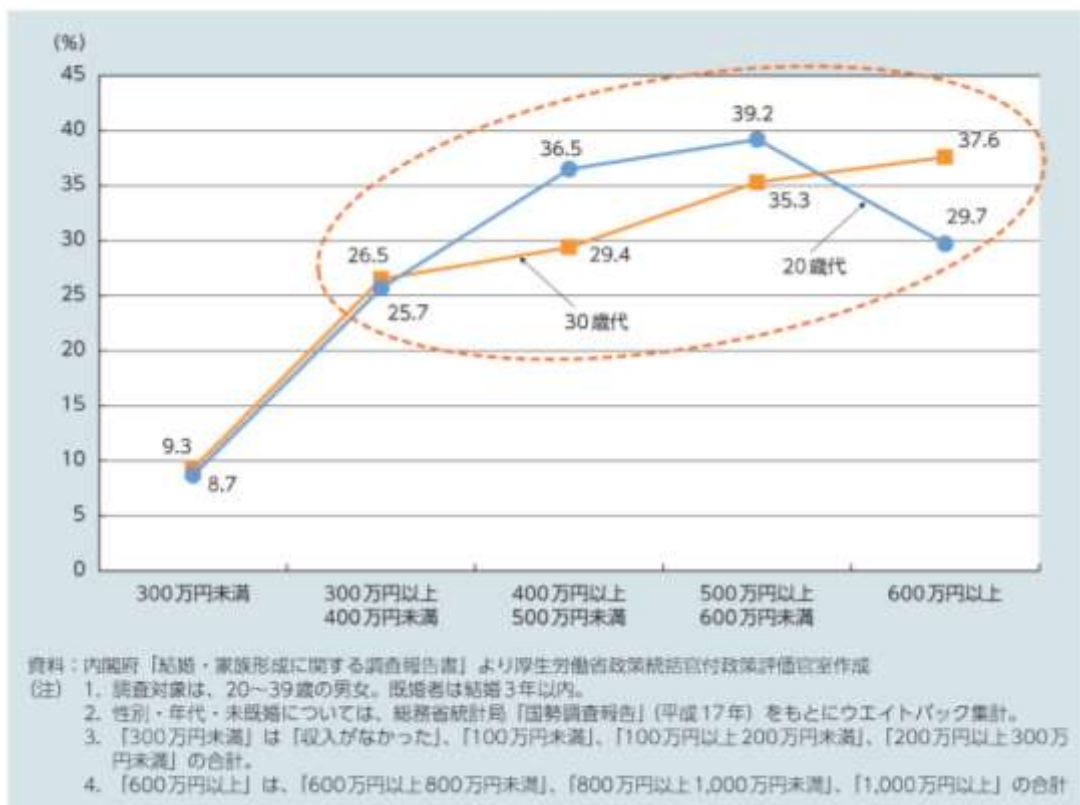
③就業形態と結婚意欲との関係

就業形態の違いと結婚願望の関係では、非正規雇用である場合、正規雇用の場合に比べて、結婚願望は低くなっている。



④年収別に見た、20歳代・30歳代男性の既婚率

男性の既婚率は、年収の増加に伴い、おおむね上昇している。



(2) 子育て・教育環境について（近隣市町との比較）

①小児医療費の助成

通院に関わる医療費を助成する制度
 所得条件に違いはあるが、対象年齢の比較では、近隣市町の中で最高水準。

小児医療費の助成（通院）

都市名	対象年齢	所得制限 ^{※2}
横須賀市	小6まで ^{※1}	あり
横浜市	小3まで ^{※1}	あり
川崎市	小2まで	あり
三浦市	小5まで	なし
藤沢市	小6まで	なし
逗子市	小6まで ^{※1}	あり
葉山町	小6まで	なし

※1 平成27年10月から

※2 0歳児はいずれも所得制限なし

※3 入院はいずれも中3まで助成（所得制限あり）

各市町ホームページから作成

②中学校給食

県内 19 市中、完全給食を実施している自治体は 8 市（44.4%）

近隣では、三浦市のみ完全給食を実施している。

※横浜市は、完全給食・ミルク給食ともに実施していない。

<給食の定義（学校給食法施行規則より）>

完全給食：給食内容がパン又は米穀（これらに準ずる小麦粉食品、米加工食品を含む）、
 ミルク及びおかずである給食。

ミルク給食：給食内容がミルクのみである給食

平成26年5月1日現在

都市名	給食形態		都市名	給食形態	
	完全給食	ミルク給食		完全給食	ミルク給食
横浜市	—	—	秦野市		○
川崎市		○	厚木市	○	
相模原市	○		大和市	○	
横須賀市		○	伊勢原市		○
平塚市		○	海老名市	○	
鎌倉市		○	座間市		○
藤沢市		○	南足柄市	○	
小田原市	○		綾瀬市	○	
茅ヶ崎市		○	計	8	10
逗子市		○		44.4%	55.6%
三浦市	○		葉山町		○

神奈川県内の学校給食実施状況 平成26年度版 から作成

参考資料

(1) 子育て・教育環境

近隣市町に比較し優位性のある既存政策・施策例

①乳児のいる家庭への全戸訪問（こんにちは赤ちゃん事業）

概要：生後4カ月までの乳児のいる世帯への全戸訪問を実施し、育児不安の軽減を図っています。

優位性：本市の医療専門職の保健師・助産師による全戸訪問実施率は99.6%（平成24年度）

*近隣市町と比べると…

本市の各家庭への訪問者は、専門的な資格を有している保健師もしくは助産師が行っており、訪問率は葉山町（100%）に次いで、高くなっています。

市町名	対象数	訪問数	訪問率
葉山町	228	228	100.0%
横須賀市	2,846	2,834	99.6%
鎌倉市	1,230	1,223	99.4%
藤沢市	3,666	3,616	98.6%
三浦市	211	206	97.6%
逗子市	412	382	92.7%
横浜市	31,623	24,001	75.9%

各市町の担当部署から聞き取り

②不育症治療に対する支援（不育症治療費助成事業）

概要：不育症治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない治療費の一部を助成しています。

優位性：近隣市町で実施しているのは、本市だけです。

③保育所の待機児童解消への取り組み

概要：出産、子育てしながら働くことができるように、保育所の増改築、定員の拡大など、さらなる待機児童の解消を図っています。

優位性：本市では保育所の定員拡充を推進した6年間で266人の定員増を図りました。

*近隣市町と比べると…

0歳から6歳の人口千人あたりの待機児童数は、横浜市、三浦市（待機児童数がゼロ）に次いで少ない状況にあります。

市町名	人口 H25/1/1現在		待機児童数 4/1現在			待機児童数 (千人当たり)		
	総数	0-6歳	0-4歳	平成25年	平成24年	増減	0-6歳	0-4歳
横浜市	3,697,035	219,612	157,025	0	179	▲179	0.00	0.00
三浦市	46,944	1,879	1,287	0	0	0	0.00	0.00
横須賀市	412,739	21,545	15,087	34	36	▲2	1.58	2.25
鎌倉市	173,907	9,401	6,571	27	42	▲15	2.87	4.11
逗子市	57,915	3,023	2,100	18	30	▲12	5.95	8.57
藤沢市	416,832	26,552	18,963	277	379	▲102	10.43	14.61
葉山町	32,812	1,959	1,342	30	26	4	15.31	22.35

保育所入所待機児童数の状況について（神奈川県）から作成

④学力向上放課後教室の実施（学力向上事業）

概要：基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、児童生徒の学力を向上させるため、学力向上放課後教室サポートティーチャーを配置し、放課後の時間帯などを利用し、個別や少人数での補習などの学習指導を行っています。

優位性：市立小・中学校全校で、放課後に学べる学力向上放課後教室を実施

*近隣市町と比べると…

藤沢市が中学校で同様の取り組みを実施していますが、小学校では実施していません。そのほかには、市町ぐるみで取り組んでいる自治体はありません。

⑤市立学校全普通教室への空調設備

優位性：夏の暑さが年々厳しくなる中で、市立小・中学校の全普通教室に空調を完備

*近隣市町と比べると…

横須賀市および逗子市では 100%完備していますが、横浜市は 66%、藤沢市と葉山町は 31%、鎌倉市と三浦市では 0%となっています。（平成 24 年度）

市町名	学校数		普通教室への空調設置校数		整備率
	小学校	中学校	小学校	中学校	
横須賀市	46	23	46	23	100%
逗子市	5	3	5	3	100%
横浜市	344	148	230	97	66.0%
藤沢市	35	19	7	10	31.0%
葉山町	4	0	2	2	31.0%
鎌倉市	16	9	0	0	0%
三浦市	8	4	0	0	0%

横須賀市教育委員会学校管理課調べ

⑥市立学校全校にネイティブスピーカーを配置（国際コミュニケーション能力育成事業）

概要：ネイティブスピーカーと直接触れ合うことで、子どもたちの国際コミュニケーション能力を育成しています。

優位性：学校数に対するネイティブスピーカーの人数の割合が高くなっています。

*近隣市町と比べると…

逗子市（100%）に次いで、高くなっています。（平成 24 年度）

市町名	学校数			ネイティブスピーカーの人数			学校数に対する ネイティブスピー カーの割合
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	
逗子市	5	3	8	5	3	8	100.0%
横須賀市	48	23	71	30	24	54	76.1%
横浜市	343	148	491	122	124	246	50.1%
葉山町	4	2	6	3		3	50.0%
藤沢市	35	19	54	6	10	16	29.6%
鎌倉市	16	9	25	5		5	20.0%
三浦市	8	4	12	1		1	8.3%

各市町の教育委員会から聞き取り

⑦キャリア教育の推進（キャリア教育推進事業）

概要：義務教育の段階から「学ぶこと」と「働くこと」のつながりを理解することで、学習意欲を向上させ、将来、社会で主体的かつ意欲的に活躍できる人材を育てることを目的とした「キャリア教育」を横須賀商工会議所と協働で推進しています。

優位性：キャリア教育を市立中学校全校で実施

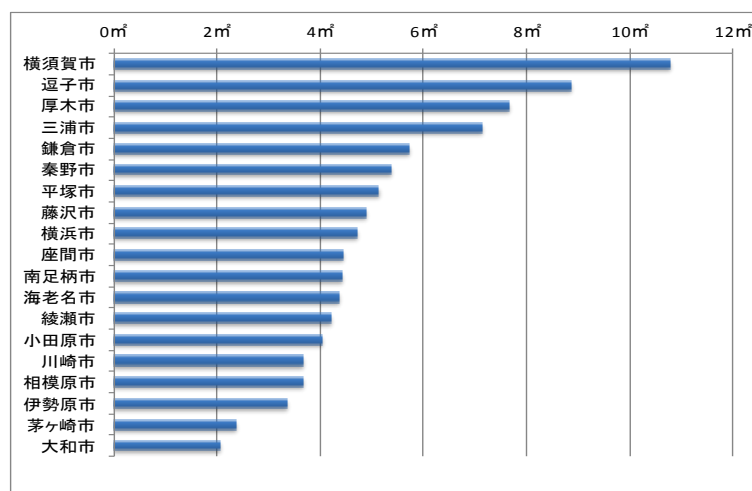
* キャリア教育に関する主な受賞

年度	受賞名	受賞団体	主催
平成22年	キャリア教育優良教育委員会表彰	横須賀市教育委員会	文部科学省
	キャリア教育アワード優秀賞	横須賀商工会議所	経済産業省
	小宮山審査委員長賞(準グランプリ)		
平成23年	キャリア教育優良教育委員会表彰 最優秀賞	よこすかキャリア教育推進事務局	文部科学省 経済産業省
平成25年	キャリア教育優良学校表彰	横須賀市立不入斗中学校	文部科学省

⑧都市公園面積

優位性：市民一人当たりの都市公園面積が県内 19 市で最も広い

※横須賀市 11.62 m²、横浜市 4.8 m²、藤沢市 4.88 m²（いずれも平成 23 年度）



神奈川県内市町村別都市公園整備状況から作成